

大学院ニュースレター

久留米大学大学院医学研究科

第77号 / 2015年12月24日発行

編集 / 医学研究科長

『 ACCORD 研究の謎 』

内科学講座（内分泌代謝内科部門）

教授 山田 研太郎

糖尿病患者の血糖をどの程度厳格にコントロールすべきかは、時代とともに揺れ動いてきたテーマです。1990年代には、大規模研究のエビデンスに基づき厳格な血糖コントロールが志向されるようになりましたが、最近は低血糖が起こらない穏やかなコントロールが推奨される傾向にあります。2008年6月に報告された Action to Control Cardiovascular Risk in Diabetes (ACCORD) 研究は、その転換点に位置しています。

心筋梗塞や脳梗塞の既往があるか高リスクの2型糖尿病患者を対象とした無作為対照研究で、強化療法群はヘモグロビン A1c6%未満を目指して糖尿病治療薬を増量するというプロトコルでした。しかし、この研究は5.6年の予定期間を終了することなく、3.5年の時点で突然打ち切られることとなります。強化療法群の方が、死亡率が1.22倍高いことが示されたからです。CIが1.01-1.46, $p=0.04$ というぎりぎりの有意差でしたが、New England Journal of Medicine に発表された論文の Abstract は、「これまで知られていなかった血糖低下の有害性を identify した」と結ばれています。”identify”は「確認する」、あるいは「証明する」と訳される、かなり断定的な表現です。

本来の primary outcome であった心筋梗塞は強化療法群の方が低率でした。強化療法群は低

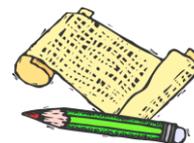
血糖発症率が高く、体重増加が大きく、体液貯留が多かったものの、低血糖によると推定される死亡は、両群とも1例のみでした。目標血糖値が低すぎたのか、使用した薬剤に問題があったのか、いくつかの可能性が挙げられていますが、明らかではありません。しかし、多くの読者が血糖値を下げすぎて低血糖をきたしたため死亡が増えたと受け取ったのも無理はないでしょう。翌年には、低血糖リスクが低い新しい糖尿病治療薬が発売されたこともあって、従来の治療薬の危険性を示す証拠として取り上げられることも増え、糖尿病に関心を持つ医師で ACCORD 研究を知らない人は居ないといって良いぐらいになりました。何といても IF が50を越える超一流のジャーナルです。その影響は欧米や我が国の糖尿病治療ガイドラインにも及びました。

その後も、ACCORD 研究に関してはサブ解析や長期的経過についての論文が続々と発表されていますが、謎は深まるばかりです。最も意外だったのは、強化療法群で死亡率が上昇したのはヘモグロビン A1c の高値が持続した人々であり、6%以下あるいはその近くまで低下した症例ではなかったことです。確かに両群とも低血糖を経験した例の方が死亡率が高かったが、その傾向は従来療法群において顕著であり、強化療法群で従来療法群より死亡率が高かったのは低

◆博士課程の皆様へ◆

「研究計画」の策定及び提出依頼について

博士課程の学生を対象に、平成28年2月頃に「研究計画」の書類を送付いたします。これは、久留米大学大学院医学研究科規程第4条及び学位論文指導計画等策定に関する内規に基づき、在学中の計画的な研究と学位論文作成のため、毎年各自の研究計画（テーマ・目的・方法）を指導教授の指導の下で策定いただくものです。期日までに必ず医学部事務部教務課まで提出ください。



◆博士課程第4学年学生の皆様へ◆

学位論文提出の手続きはお済みですか？

博士課程4年生で今年度中に学位論文を提出し修了を予定する方は、準備をお願いします。なお、提出されない方については、平成28年2月上旬ごろを目途に医学部事務部教務課から「在学期間延長・単位修得満期退学希望調査」を実施しますので、ご回答をお願いします。

医学研究科入学試験について

平成27年10月20日（火）に行われた前期入学試験の結果は下記のとおりです。後期試験については次項のとおり実施します。

合格者	修士課程 20名	博士課程 12名
-----	----------	----------

平成28年度大学院医学研究科後期入学試験のお知らせ

【試験日程】修士・博士ともに同一

出願受付期間：平成28年1月18日（月）～平成28年1月29日（金）

試験期日：平成28年2月16日（火）

合格発表：平成28年3月11日（金）午前10時

【試験内容】

*修士課程

医科学専攻〈基礎医学群・社会医学群・分子生命科学群〉・看護学専攻

英語・小論文・面接

医科学専攻〈バイオ統計学群〉

英語・面接

*博士課程

英語・面接



別途、科目等履修生も募集しております。身近な方で、医学研究科に興味・関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ご紹介の程どうぞよろしくお願いします。

第1回学生研究発表会について

記念すべき第1回学生研究発表会が、12月14日(月)・15日(火)に行われました。ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。来年度も開催予定ですので、どうぞよろしく願いいたします。また、特に優れた発表を行った以下3名に対し、表彰を行いましたので、併せてご報告いたします。

優秀賞

個別最適医療系専攻

田口 顕正さん

最優秀賞

生理系専攻

花田 雄樹さん

優秀賞

生理系専攻

北原 陽介さん



学生駐車場の募集について



現在大学院に在籍する学生の平成28年度学生駐車場の申請については、例年2月初旬に受け付けております。当該時期になりましたら、各所属講座や医学研究科ホームページを通じてお知らせしますので、申請を希望される方はご確認をお願いします。

編集後記



2015年も終わりに近づき、本格的に寒い日々が続きますが、体調など崩されていませんか。ご自愛いただき、良いお年をお迎えください。2016年もよろしく願いいたします。(東)